



	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業事業者に対する計画的な事業の発注等を通じ、雇用の場を提供することにより、地域の社会経済に貢献した。</li> </ul>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林は、継続して適切に管理しており、良好な状態である。</li> <li>・整備された林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態である。</li> </ul>
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水源涵養や山地保全などの機能が十分に発揮できる森林が形成されている。</li> <li>・森林資源の充実に伴い、レクリエーション・保健機能等も充実している。</li> </ul>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>本地域の人口は、年々減少傾向にある中、林業就業者数は、平成17年度の254人から平成27年度には272人に増加しているが、北海道内の傾向として他産業に比べて60歳以上の高齢者の割合が高く、今後増加する森林整備を担う人材が確保されているとは言い難い。</p> <p>こうした状況の中、効率的で生産性の高い高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が進められており、担い手の確保とともに高性能林業機械のオペレーターを育成していくことが課題である。さらに、森林施業に資する林業専用道及び森林作業道の連結によって効率的・効果的な森林施業を推進する必要がある。</p> <p>また、道内では大型のバイオマス発電施設が次々に稼働したほか、産業用資材の需要の高まりによって、木材需要が拡大しており、今後木材の安定的な供給を通じて、ますます地域経済の振興に寄与していくことが求められる。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、事業計画を踏まえて着実に事業を実施する必要がある。</p> <p>さらに、耐久性と利便性に富む路網整備に取り組むとともに、伐採と造林の一貫作業や植付効率の向上等の効果が期待されるコンテナ苗の導入、保育作業の省力化など低コストで効率的な作業システムの確立のほか、有用広葉樹の天然更新木を活用した針広混交林への誘導等多様な森林整備を行うことが重要である。</p> <p>また、これらの取組については、関連する地域の自治体や事業者と現地検討会等を通じて情報や技術の共有を図りながら、連携して取り組むことが求められる。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>(北海道)</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する多面的機能の維持増進が図られたと認識している。今後とも道との一層の連携のもと、森林整備を推進していただきたい。</p> <p>(苫小牧市)</p> <p>国有林は苫小牧市の水源地の上流部にあり、森林の整備・保全及びその基盤となる林道等の路網の整備が実施されたことは、水源涵養機能や土砂流出防止機能など森林が持つ多面的機能の発揮において、良好な森林形成が図られたものと高く評価する。</p> <p>(白老町)</p> <p>本町において森林整備が適切に実施され、森林の持つ多面的機能が発揮されたと評価できる。今後は、国内・国外から多くの観光客がウポイを訪れることが予想されるため、ウポイ周辺にあるポロト自然休養林を中心とした、森林空間を活かした総合的な森林整備にご協力をお願いしたい。</p> <p>(むかわ町)</p> <p>森林面積が行政面積の約8割を占める本町において、そのうち国有林の占める割合は高く、この間、国有林において森林整備が着実に実施されたことは十分に評価できる。農林水産業を基幹産業とし、山間地域に集落が点在する本町にとって、森林は木材生産のみならず、水源涵養や土砂流出防止といった公益的機能の維持増進が非常に重要であり、今後も引き続き適切な森林整備を実施され、森林の持つ公益的機能の十分な発揮と良好な森林形成が図られるよう期待する。</p>

<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性： 本地域は、農業の振興や漁場の保全に資する観点から、水源涵養機能を発揮するため、既に指定されている水源かん養保安林を一層充実することが求められていた。さらに、山地保全や地球温暖化防止対策のほか、保健文化機能の維持等に寄与する観点からも、継続的な事業の必要性が認められていた。</li> <li>・ 効率性： 現地の地形・地質状況に適した工種及び作業仕様での路網の開設・改良を行うとともに森林整備実施箇所へのアクセスの向上が図られた。 また、森林整備においても、間伐、更新・保育作業等を行うに際しては、現地の状況等を踏まえつつ効率的に行うことに加え、路網と高性能林業機械を組み合わせた効率的な作業システムによる間伐や、コンテナ苗等を活用し、伐採から造林までを一体的に行う「一貫作業システム」の積極的な導入を図ることにより効率性を確保している。</li> <li>・ 有効性： 本事業の実施により、森林の有する多面的機能が持続的に発揮され、引き続き森林整備事業の効果が発現されるものと見込まれる。 また、水源涵養や山地保全機能の発揮を通じて、地域の基幹産業である農業や漁業の振興に寄与していることから、事業の有効性が認められる。</li> </ul>

※平成22年度評価時点における数値については、消費税を含んだ数値である。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：北海道

施行箇所：胆振東部森林計画区(胆振東部森林管理署)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	14,960,473	
	流域貯水便益	3,229,109	
	水質浄化便益	11,718,362	
山地保全便益	土砂流出防止便益	11,917,056	
環境保全便益	炭素固定便益	2,640,352	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	8,606	
	木材利用増進便益	153,928	
	木材生産確保・増進便益	581,155	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	94,916	
	森林整備促進便益	430,147	
総 便 益 (B)		45,734,104	
総 費 用 (C)		6,625,766	
費用便益比	$B \div C = \frac{45,734,104}{6,625,766} = 6.90$		

# 森林環境保全整備事業 胆振東部森林計画区 (胆振東部森林管理署) 事業概要図

新設工事



下刈



植付



保育間伐

